

第3回 五ヶ瀬川水系流域委員会 要旨

主要概要

1. 第2回流域委員会議事の確認
第2回流域委員会で意見のあった五ヶ瀬川の通常の流れている流量について説明。
(資料：第2回五ヶ瀬川水系流域委員会要旨)
2. 環境影響分析の考え方について
河川事業の計画段階における環境への影響の分析方法について、その考え方、作業手順を説明。
3. 現況流下能力について
現況流下能力の算定の考え方及び五ヶ瀬川において流下能力が不足している箇所を個別に説明。
4. 質疑応答
上記事務局の説明に対する質疑応答
5. 今後の委員会運営方法について
 - ・ 今後、議論を深めていくために、“治水”、“利活用”、“環境”の3つの分科会に分れて討議を行い、流域委員会でその意見を出し議論、調整していく。
 - ・ 3分科会のメンバー人選
6. その他
各分科会別に現地視察を行う。
(各分科会メンバー及び現地視察日程は別表のとおり。)

分科会メンバー

治水分科会	利活用分科会	環境分科会
杉尾 哲 片伯部 昌彦 清本 英男 黒木 睦郎 櫻井 哲雄 高牟礼 義行 柳田 朋子	梶井 恵子 工藤 謙一 斎藤 陽亮 杉田 英治 染矢 俊一 染矢 敏則 日野 素子 山形 憲二郎	神田 猛 黒木 睦之 興梠 任香 須田 政道 田丸 眞 中島 義人 成迫 平五郎 牧野 哲久

は分科会長

現地視察日程

- 8月24日(火) 環境分科会
8月25日(水) 利活用分科会
8月31日(火) 治水分科会 台風16号のため9月17日(金)に延期

質疑応答

1.環境影響分析について

- ・「分析計画書」「分析報告書」は、公表するとあるが公表期間は決まっているのか。

(事務局)：決まっていない。全国の事例も踏まえて今後相談してゆきたい。

- ・「分析計画書」「分析報告書」の作成及び公表において第3者意見の収集とあるがこういった形で収集するのか。

(事務局)：流域委員会の中で皆さんの意見を伺うという形を取らせてもらいたい。

2.その他事務局説明について

- ・改修方式及び改修の優先順位等委員会で決めるためには、事務局の方から早目に具体的な案を提示してもらいたい。

(事務局)：早くお見せできるように作業中です。

現時点では、事前に治水、環境等の話をご理解いただくための時間を取らせていただいている。

- ・環境については、現在の環境を守るのか、昔の良い環境の時点に戻すのか。

(事務局)：整備の段階でできるものについては、議論してゆきたい。

- ・市役所の駐車場、鷺島、隔流部の改修の考え方は。

(事務局)：隔流部については、昭和50年代くらいに基礎工事を実施し、それ以降ストップしていたが本年度より着手し、大瀬川と五ヶ瀬川の適正分離を図る。鷺島については、生物のほうからは良好な生活環境となっているが、裏の畑は水量が増えると浸水被害が生じており、環境、治水の両面からどう整備していくのか御議論いただきたい。

3.分科会について

委員長より：・ 今後は、分科会に分れて議論を深めていきたい。

- ・ 分科会としては“ 治水 ”、“ 利活用 ”、“ 環境 ”の3つに分けたい。
- ・ 分科会長としては、治水は委員長（杉尾先生）、利活用は梶井さん、環境は神田先生にお願いしたい。
- ・ 各分科会の委員は、希望があれば他の分科会への出席も可能。
- ・ 1ヶ月後を目標に各分科会で現地視察を行う。
- ・ 各分科会の協議内容は、全体の流域委員会で調整する。
- ・ 分科会は、ボランティアでの勉強会と位置づける。